

美しい花火

眺めて歓声

高桑 綾子 75歳

(内灘町)

猛暑の夜、内灘町民夏まつり・花火の祭典が催されました。打ち上げられるみごとで美しい花火を2階の特等席から眺めて歓声をあげました。

10号玉のオープニングから恋人の聖地にちなんだハート型の花火など1770発も夜空に大輪を広げたの

です。ドーンドーンと打ち上げられる夏のイベントの風物詩を今年も元気に見ることができた幸せをかみしめました。

夏休みに入り

暑い日が続く

横山 美樹 41歳

(金沢市・講師)

今年梅雨明けも早く、

夏休みに入りまだまだ暑い日が続いています。先日仕事で名古屋に出掛けた際、駅から出てすぐあまりの暑

さにびっくりしました。金沢に帰って来て、駅から出てみると緑が多く風も吹き、気温は名古屋よりも低いということもあると思います

ですが、少しホッとしたのを覚えています。

家では日中は遮光カーテンを閉めるようにし、夕方は家の前や玄関に水をまく

などし、少しでも気温を下げるように工夫をしました。娘には帽子や水分補給を忘れないように声掛けをして、いつも以上に暑さが厳しい夏を元気で乗り

切れるように過ごしたいです。

朝のラジオ

体操始まり

竹嶋 敏晃 80歳

(金沢市)

夏休みになり朝のラジオ体操が始まりました。前に出て模範体操をする者がいなくて困っていた時、女子児童に「やってくれないか」と言ったら控えめながら承知してくれ、その後もやってくれました。毎朝時間に

遅れず真面目に登校する女子児童です。三和小児童の見守り安全協力員をしてますが、登校時の態度にその子の性格も出るものです。

妹、弟と3人きょうだいで、弟がお姉ちゃん態度を見て尊敬したようでした。この前まで子どもだと思っていた近所の子でも成長は早いものです。すぐにわれわれを追い越して世の役立つ大人になるのを楽しみに、2学期からまた安全協力員としてサポートしていきます。